

防災から減災へ 発想転換で産業振興を

視察月日	平成26年10月21日（火）～22日（水）
視察先	岩泉町（岩泉町役場、岩泉乳業株式会社） 田野畑村（田野畑村役場、一般社団法人田野畑村産業開発公社）
視察者	総務常任委員会（黒沢一成委員長、阿部吉衛委員、稲川勝憲委員） 教育民生常任委員会（吉川淑子委員長、山崎泰昌副委員長、木村洋子委員、田村剛一委員、阿部幸一委員） 産業建設常任委員会（豊間根信委員長、坂本正副委員長、尾形英明委員、佐々木良一郎委員） 昆暉雄議長
視察目的	岩泉町、田野畑村の被災状況や復興状況を学ぶとともに、第3セクターである岩泉乳業および田野畑村産業開発公社の経営状況や取り扱い商品について学び、町への政策提言に生かす。



岩泉町の複合施設完成予想図

【岩泉町】 ◆岩泉町役場

復興状況

～コンパクトな町へ

計画期間を31年度までとする復興計画を23年9月に策定。基本的な造成・建設は26年度まで。三陸鉄道と三陸縦貫道を中心としたコンパクトな町づくりを目指している。

災害公営住宅への入居は26年4月から開始。戸数は51戸。集団移転先は2カ所で約60区画を予定しており、区画当たり80

～100坪とのこと。

災害時の避難場所に ～防災総合拠点

旧小本観光センター跡地に小本駅、役場支所、診療所、集会所を備えた複合施設を整備する。災害時には現地指揮本部、避難所として活用する。

◆岩泉乳業株式会社

会社設立から

現在に至るまで

6次産業化を目的と

し、岩泉町や乳製品販売業者などが株主となって16年に会社を設立。当初は価格競争の激化

などで経営状況が厳しく、企業診断士から再建不可との診断を受けた。しかし、21年に主力商品を牛乳からヨーグルト・発酵乳にシフトし、販売先を見直すことで売上高を伸ばしてきた。

世界が認める

一級品ヨーグルト

日本のヨーグルトの基準が曖昧である中、岩泉ヨーグルトは国際規格を満たしている。脱脂粉乳から作られるヨーグルトも多いが、岩泉町産の牛乳を材料としていることが特徴で、海外のセレクションに何度も出品し、高い評価を得ている。

町を挙げての

積極的なPR活動

研修の受け入れをPRの絶好の機会と捉え、地域の人々との交流や修学旅行・視察の受け入れを積極的に行っている。社